

平成26年度 第3回 赤浜地域復興協議会

資料2 海沿いの土地の活用について

1. 旧東大海洋研跡地・蓬萊島を含むエリアの活用条件
2. 観光に関する事例
3. 第3回協議会のテーマ

3. 旧東大海洋研跡地・蓬莱島を含むエリア

・デザインノートでは砂浜を復元することを目標



八幡宮裏側から蓬莱島を望む

デザインノートから抜粋

◆活用の条件

1) 砂浜をつくるための条件・課題

- ・来年度より県の復旧工事(現状復元)が予定されている。
- ・砂浜にするには、上記工事とは異なる事業が必要である。
- ・復旧工事をやめて、町が独自に傾斜護岸などを整備することが考えられるが、補助金等の確保が難しい。
- ・できるだけ早く県と調整する必要がある。

◆活用の条件

2) 蓬莱島へ繋がる防波堤への手すり等の設置の可能性

- ・周辺地域の活用を含めた観光施策としての海岸利用活性化計画を立て、官民一体の協働組織等を立ち上げた上で、再度県と協議する必要がある。

3) 旧東大海洋研跡地(町有地)の活用条件 (観光目的の民間企業、地域団体等へ土地を貸すことは可能か?)

- ・条件などを整理する必要があるが、町有地の貸与は基本的に可能である。

◆活用の条件

4) 旧東大海洋研跡地(町有地)へ町が観光施設を建設する計画の有無

5) 赤浜の観光拠点化に関する町の方針・方策

- ・町は観光拠点化を含む計画の立案の必要性は認識している。
- ・ただし、現時点では、方針や具体的な施策は計画していない。
- ・地域とともに検討を行っていくことが求められる。

2. 観光に関する事例

①北山崎サツパ船アドベンチャーズ(田野畑村)

- ・ウニやアワビなど磯場の漁に使う小型の磯舟を使っての北山崎クルージング。(3,500円／人)



②三陸山田かき小屋(山田町)

- ・被災後、予約制のかき小屋を開設



③一本松茶屋(陸前高田市)

- ・奇跡の一本松の駐車場に併設して、観光物産等を販売する一本松茶屋



観光の事例について

- ・東日本大震災の被災地では、まだ、観光振興策を展開しているところは少なく、実施しているところでも規模が小さい。
- ・事例の多くは、民間主導であり、民間の活動に対して、観光協会や自治体が協力を行っている。

3. 第3回協議会のテーマ

旧東大海洋研跡地・蓬莱島を含むエリアの活用

先に示した事項を踏まえて、テーブルごとに意見を出し合います。